

仙台市における運動器検診の実施方法について

実施学年	実施期間	検診方法・内容
全児童生徒	4月～ 6月	<p>＜従来の保健調査票に運動器検診項目を追加し、保護者による観察と学校医による有所見者の振り分け＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 従来の保健調査票に運動器の項目（11項目）を追加する。 【追加項目】・脊柱側弯症の項目は従来通り（4項目） ・「四肢の状態」を検査するための主要7項目 2. 保護者は家庭で保健調査票の異常項目に○（マル）をつける。 3. 学校は日常の健康観察の情報を整理する…① ※可能な範囲で、学校（体育やクラブ活動・部活動担当者による）は健康観察の情報を整理する。 4. 学校は保健調査票の異常項目がある児童生徒の情報を整理する…② ※可能な範囲で、養護教諭は健康診断前にチェック項目を観察し、さらに情報を整理する。 5. ①と②で情報整理した結果、チェック項目があった児童生徒には、内科検診時、学校医による視触診等で所見があった場合は医療機関での受診を勧める（保険診療）。 ※治療勧告書（内科）は、「四肢」の異常を記入する項目を活用する。 <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判定基準は別紙のとおり。 ・一次精密検査医療機関は、仙台市内の整形外科専門医のいる診療所で手上げ方式とする。 ・二次精密検査医療機関は、仙台市内の勤務医ブロック所属で整形外科専門医のいる医療機関および、松田病院、仙台整形外科病院とする。

運動器検診判定基準

○全児童生徒を対象にした運動器検診

検診項目	一次精検紹介の判断基準
(脊柱)	保護者チェックで異常がある
(胸かく)	従来通り、内科系校医の判断に任せる
(O脚・X脚)	大人の指で3本以上開いている
(肩の動き)	前からばんざいした時に肩に痛みがあるか、横から見た時に耳にかかる高さまで腕が上がらない（腕が一部でも耳にかかっていたらOK）
(肘の曲げ・伸ばし)	できない
(片脚立ち)	5秒できない
(しゃがみこみ)	痛みがありしゃがめない
(立位体前屈)	指先が膝より下に行かない
(背骨そらし)	痛みがある

運動器検診

脊柱
胸郭
○脚・×脚
肩の動き
肘の曲げ・伸ばし
片脚立ち
しゃがみこみ
立位体前屈
背骨そらし

1

必要なこと

- ・保護者が保健調査票の異常項目に○を付ける
- ・学校は保健調査票の異常項目がある児童の情報を整理
- ・○のついた項目に対し、内科検診時に視触診等を行う
- ・有所見者は医療機関での受診を勧める

2

- ・背面の高さに左右差がある
- ・肩の高さに左右差がある
- ・肩甲骨の高さに左右差がある
- ・ウエストラインに左右差がある
- ・胸かくが気になる
- ・(○脚・×脚)大人の指で3本以上 離れている
- ・ばんざいした時に痛みがあって両腕が耳につかない
- ・肘を曲げた時に指が肩につかない。または肘をまっすぐに伸ばせない
- ・片脚立ちすると5秒以内に足をつく
- ・しゃがみこむことができない
- ・ひざを伸ばしたまま前かがみになると、指先が膝より下にいかない
- ・背骨をそらした時に腰に痛みがある

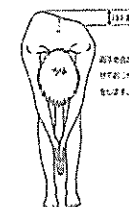
3

脊柱:肋骨隆起診察のポイント

- ・基本は背部から診る
- ・身体のねじれに注意
- ・かかとの位置をそろえる
- ・膝が曲がらないように
- ・診る個所は床と水平に
- ・足を少し開くとねじれを予防しやすい

判定基準:

保護者チェックで異常がある

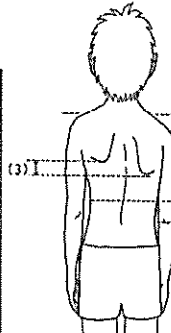
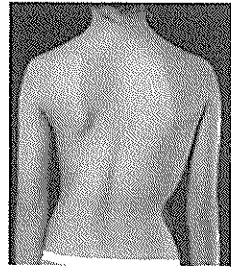


4

脊柱

基本は左右差

判定基準：
保護者チェックで異常がある



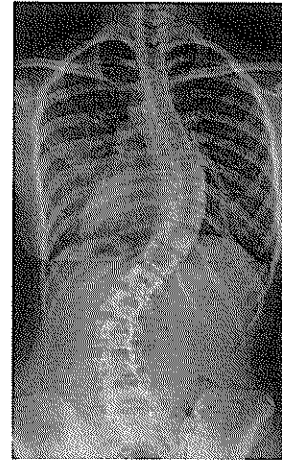
かたの高さ 2

肩甲骨の高さ 3

ウェストライン 4

5

特発性側弯症



- ・胸椎はほとんどが右に凸
- ・腰椎はほとんどが左に凸
- ・麻痺性側弯・症候性側弯では反対凸もありうる

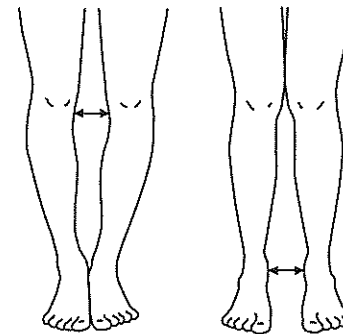
6

胸郭

従来どおり、内科系校医の判断に任せる

7

X脚・O脚



注意
X脚の児童は膝をずらして立つ

判定基準：
大人の指で3本以上開いている

8



肩の動き

注意

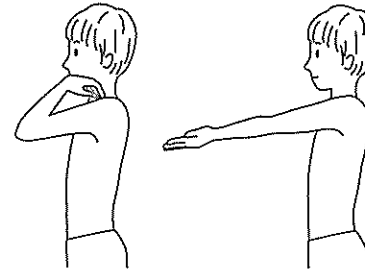
腕が垂直まで上がらない児童は
脊椎をそらして上げようとする

判定基準:

前からバンザイした時に肩に痛みがある
か、横から見た時に耳にかかる高さまで
腕が上がらない(腕が一部でも耳にか
かっていたらOK)

9

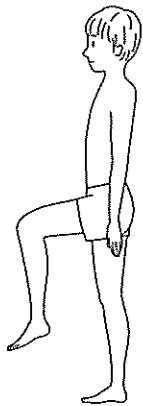
肘の曲げ伸ばし



判定基準:

指が肩につかない
完全に伸ばせない

10



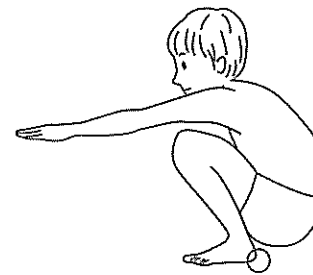
片脚立ち

判定基準:
5秒できない

11

しゃがみこみ

- ・かかとを床に接地させること
- ・両手は前に伸ばしてよい
- ・後ろに倒れる児童と
途中でやめてしまう児童がいる

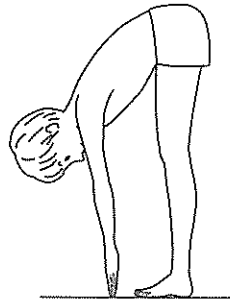


判定基準:

痛みがありしゃがめない

12

立位体前屈

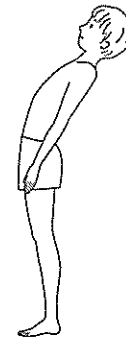


注意
膝が曲がらないように

判定基準：
指先が膝より下に行かない

13

背骨そらし



判定基準：
痛みがある

14

精密検査

一次精密検査医療機関は、仙台市内の整形外科専門医が在籍する診療所で、手挙げ方式とする

二次精密検査医療機関は、仙台市内の勤務医ブロック所属で整形外科専門医が在籍する医療機関および、仙台整形外科病院、松田病院とする

15

5年次運動器検診

仙台市立小学校の5年生に対し、委託業者が行っていた側わん症検診に加え、18項目の運動器検診を合わせて行う

16

4年次・6年次運動器検診

一つの小学校に対しては、4年次・6年次にも
18項目の運動器検診を行う

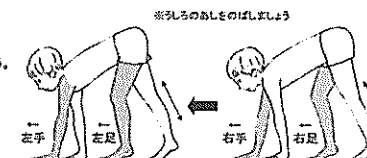
検診は東北大学整形外科医師が行う

らくだ歩きとくま歩きをしてみよう！

ももの後ろの筋肉を伸ばし、足首をやわらかくします。さらに腕の力を強くします。
1日にらくだ歩き20歩、くま歩き20歩を目安に、急がずゆっくり歩きましょう。

らくだ歩き

おしりを高く、なるべく前を見ましょう。
①右手・右足を同時に前に出す
②左手・左足を同時に前に出す
①②を繰り返す



くま歩き

おしりを高く、なるべく前を見ましょう。
①右手・左足を同時に前に出す
②左手・右足を同時に前に出す
①②を繰り返す

